



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2016年1月号（531号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・社会司教委員会	3
・教会行政法制委員会	4
・典礼委員会	4
・学校教育委員会	5
・諸宗教部門	6
・カリタスジャパン	7
・正義と平和協議会	8
・HIV/AIDS デスク	10
・中央協議会事務局（総務）	11
公文書	12

常任司教委員会

■11月定例常任司教委員会

日 時 2015年11月5日（木）10：00－14：40

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 6人

報 告

1. 第14回世界代表司教会議（シノドス）通常総会参加について
2015年10月4日－25日まで、「教会と現代世界における家庭の召命と使命」をテーマに教皇庁で開催された第14回世界代表司教会議通常総会に参加した高見三明大司教から報告が行われた。
2. 世界家庭大会2015参加について
2015年9月22日－27日にフィラデルフィアで開催された、教皇庁・家庭評議会主催の世界家庭大会に郡山健次郎司教とともに参加した信徒の神馬宏美さん、久美さん夫妻から届いた報告書が提出された。
3. 中央協議会口座の東日本大震災復興義援金残高について
10月31日現在の中央協議会口座の東日本大震災関連・義援金残高報告が行われた。義援金総額は73,542,948円、支出合計は、58,994,001円、残高は14,548,947円となった。

審 議

1. 「いつくしみの扉」を開くための典礼について
2015年12月8日から始まる「いつくしみの特別聖年」にあたって、各カテドラルでは、12月13日（待降節第3主日）に「いつくしみの扉」を開くことが求められており、教皇庁・新福音化推進評議会から、そのための典礼式文が発表された。この典礼式文の日本語訳については、日本カトリック典礼委員会委員長に一任し、11月16日の典礼委員会定例会議で確定後、各教区に通知する。
2. 「いつくしみの特別聖年」の公式賛歌の日本語版について
教皇庁・新福音化推進評議会から発表された「いつくしみの特別聖年」のための公式賛歌“Misericordes sicut Pater”の邦訳が典礼委員会の典礼音楽担当部門から提出され、提案どおり了承された。同公式賛歌については、中央協議会ウェブサイトで公表する。
3. 2016年度日本カトリック司教協議会年間行事日程案について
2016年度の司教総会の日程案を以下のとおりとし、2015年度臨時司教総会において確定する。また、常任司教委員会の日程を確定した。
2016年度定例司教総会 2016年6月13日(月)－17日(金)
2016年度臨時司教総会 2017年2月13日(月)－17日(金)
2016年度特別臨時司教総会予備日 2016年10月7日(金)
4. 日本カトリック会館2016年度修繕計画について
「日本カトリック会館 長期修繕審議会」から提出された、2016年度日本カトリック会館修繕計画を承認した。
5. 中央協議会発行出版物の企画承認について
出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。
①書籍名 YOUTHBIBLE
内 容 YOUCAT シリーズの新刊“YOUTHBIBLE”の翻訳出版
②書籍名 回勅 いつくしみ深い神
内 容 教皇ヨハネ・パウロ二世『いつくしみ深い神』の文庫化（ペトロ文庫）
6. 「日本における教会法施行細則」追加申請承認について
2010年9月に日本から提出した「日本における教会法施行細則」の追加部分について、教皇庁・福音宣教省から一部修正の指摘と承認の通知が届いたことを受け、修正箇所を邦訳を検討し、教会行政法制委員会から提出された訳文を承認した。司教協議会会長名で全司教に通知するとともに、カトリック新聞や中央協議会ウェブサイトに掲載する。

社会司教委員会

■第 80 回社会司教委員会

日 時 2015 年 11 月 5 日 (木) 15:00-18:15

場 所 日本カトリック会館 会議室 2

出席者 14 人

欠席者 5 人

報 告

1. 2015 年度司教のための社会問題研修会について

日 時 2015 年 12 月 9 日(水)9:00 -10 日(木)12:00

テーマ 回勅『ラウダート・シ』から見た脱原発

講 師 瀬本正之師 (イエズス会) 一日目午前中

2. 脱原発文書の進捗状況

2016 年 4 月以降刊行予定で編集作業を進めている。

審 議

1. 2015 年度企画「現代世界憲章シンポジウム～発布 50 年にあたって」について

- ・東京教会管区 (5 月 30 日、北一条教会、テーマ 現代の人々の喜びと希望、苦悩と不安)

当初、参加者が少ないと心配していたが、多数参加し好評だった。

- ・長崎教会管区 (6 月 14 日、ザビエル教会、テーマ 「時のしるし」を見極める)

悪天候にもかかわらず多数参加した。教区内に新しい風が吹いたようだ。

- ・大阪教会管区 (7 月 4 日、河原町教会、テーマ 「福音の喜び」が生まれた原点)

姜 禹一司教 (韓国・済州教区) の基調講演がとても良かった。多数参加した。

- ・第 39 回正義と平和全国集会東京大会

(9 月 23 日、関口教会、テーマ 現代世界憲章 50 周年にあたって「平和と貧困」を考える)

時間は短かったが多くの参加者があった。

2. 2016 年度事業計画について

- (1) 平和憲法を守り、戦争をしない国として、平和を守るあかしをする行動を強く推進する

① 正義と平和協議会が「戦争法の廃止を求める統一署名」を全国の教会に配布するので、社会司教委員会も協力する。

② 「平和安全法制等」および憲法改正に反対するメッセージを検討する。

- (2) 脱原発の運動と地球環境問題への活動をすすめる

① 『ラウダート・シ』出版記念のシンポジウムを開催することを前向きに検討する。

② 司教団メッセージ「いますぐ、原発の廃止を」のあとに続くメッセージを検討する。

- (3) その他

① FABC 気候変動セミナーにおいて、各司教協議会内に気候変動に関するデスクを設置するように要請されているので、社会司教委員会として前向きに検討する。

② 『DOCAT (青年向けの社会教説)』の製作サポート (社会問題の学習) について前向きに検討する。

③ LGBT (性的少数者) についての理解を深める必要性が出された。

教会行政法制委員会

■2015年度第4回会議

日 時 2015年11月4日(水) 12:45-17:15
場 所 日本カトリック会館 会議室5
出席者 4人
欠席者 1人

審 議

1. 『カトリック新教会法典』の「日本の教会における教会法施行細則」への追加5項について
2010年9月に日本から申請した『カトリック新教会法典』の「日本の教会における教会法施行細則」の追加部分について、教皇庁・福音宣教省から一部修正の指摘と承認の通知が届いたことを受け、本会合で修正箇所の日本語訳を検討し、11月の常任司教委員会に諮る。
2. 自発教令“*Mitis Iudex Dominus Iesus*”による『カトリック新教会法典』の一部改定について
2015年9月8日に、教皇フランシスコの自発教令“*Mitis Iudex Dominus Iesus*”により、ラテン典礼教会と東方典礼教会の教会法にそれぞれ改正を加えることが教皇庁より発表されたことを受け、本会合で同教令の日本語訳を検討した。

次回日程 第5回会議 2015年11月25日(水) 12:00-17:00 日本カトリック会館

典礼委員会

■定例会議

日 時 2015年11月16日(月) 10:30-14:50
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 7人
欠席者 3人

報 告

1. 「いつくしみの特別聖年」の公式賛歌と祈りについて
本年12月8日から始まる「いつくしみの特別聖年」のための公式賛歌“*Misericordes sicut Pater!*”(いつくしみ深く 御父のように!)の日本語版は、当委員会傘下の典礼音楽担当部門が準備し、11月の常任司教委員会で承認された。近日中に中央協議会ウェブサイトととも公表する予定。また、前回会合で検討した祈りもカードとして完成し、各教区本部事務局を通じて各小教区などに配布される。
2. 横浜教区の典礼研修会への協力について
2016年2月11日(木・祝)にカトリック藤沢教会(横浜教区)で開催される横浜教区典礼研修会は、当委員会が2013年から3回にわたって主催した『典礼憲章』発布50周年記念講演会「典礼刷新—これまでとこれから」の内容をふまえて行われる予定。フランコ委員、市瀬委員、宮越秘書が講師として協力する。

審 議

1. 「いつくしみの特別聖年」の開幕と閉幕の典礼について
「いつくしみの特別聖年」にあたり、各国のカテドラルにおいて行われる開幕と閉幕の典礼の日本語訳

について検討を行った。今会合での意見をふまえて修正し、本委員会委員長名で各司教、教区事務局長に送付する。

2. 新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所の実施について

本年11月29日から実施が始まる「総則」の変更箇所について、質問が寄せられる可能性のある箇所についての解説をカトリック新聞10月4日号からQ&A式で掲載してきた。さらに周知を図る必要のある箇所について、今会合で検討した説明文を追加記事として掲載する。

3. 教区の儀典長（式典係）の勉強会について

6月の2015年度定例司教総会中の「司教の集い」では、「総則」の変更箇所の解説の他に、『司教儀典書』に基づく司教司式のミサの留意点について実習も含めて確認を行った。司教ミサでは儀典長の役割も重視されるため、「総則」が変更されるこの機会に、儀典長を対象とした勉強会を開催する可能性を模索している。今会合で意見交換を行い、来年度の全国典礼担当者会議に儀典長の勉強会を含めて準備すると合意を得た。次回以降、引き続き具体的な検討を行う。

次回定例会議 2016年1月18日（月）13:30-17:30 カトリック横浜司教館

学校教育委員会

■第151回学校教育委員会

日時 2015年10月1日（木）17:00-19:00

場所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

出席者 10人

審議

1. 第28回「校長・理事長・総長管区長の集い(集い)」のテーマと講師候補決定について

前回審議で出た意見からキーワードを拾うと、「環境」「家庭」「黙想」「右近」「長崎教会群」などがある。
意見交換

- ・人間の持つ傷、不安は自然が傷ついていることと関連している。人間が回復していくことに『ラウダート・シ』は繋がっている。
- ・「いつくしみの特別聖年」が始まっている。傷を負っている人への慈しみ。人間教育。
- ・日本の教育の分岐点に来ている。国はグローバル教育を標ぼうするが、効率優先経済第一に沿う人間を作ること志向している。英語が出来ればグローバルという訳ではない。「カトリックのグローバル教育はこうなんだ」ということが示せればいい。「カトリック学校でこれやりましょう」と言ってもいい。カトリック学校がイニシアティブを取るくらいの気持ちでやれるといい。「グローバル」の概念をカトリック的に伝えたい。
- ・事例研究で横浜雙葉中学校・高等学校の高田一樹さんに話してもらいたい。高田さんは海外で研究をして、議員秘書を経て横浜雙葉中学校・高等学校に昨年着任した。カトリック学校共通の学習プログラム構想を提案している。
- ・「いつくしみの特別聖年」では、最後にお祈りがある。“自分の弱さを知り、苦しい人を思いやる人と出会った人が神様から愛されていると感じられますように”

結論

タイトル カトリック学校におけるグローバル教育ーラウダート・シといつくしみの霊性(仮)ー

2016年4月28日 基調講演 瀬本正之師（イエズス会）

事例報告 高田一樹さん

4月29日 黙想指導 中川博道師（カルメル会）

全員にその場で直接連絡が取れ、承諾を得た。

2. 来年度事業計画について

「学校連合会との連携と差別化」を基盤に来年度のことを考えていく。

長崎研修旅行は来年度は実施しない。

意見交換

- ・中央協議会のHPに学校教育委員会のサイトを作り、情報提供の場とできるとよい。
- ・これまで対象としてきた校長・理事長など管理職でない、一般のカトリック学校の教員を対象とした黙想会ができないか。交通費・宿泊費実費を学校負担とすれば、講師謝礼とスタッフの経費の予算があればいい。全国規模でも20人から30人規模で、場所を決めればできるだろう。
- ・やるとしても再来年度からではないか。

3. 一般財団法人日本カトリック学校連合会との連携、課題、分担について

- ・委員会は「カトリック教育とはどういうことか」に力を入れていく。
- ・宗教教育担当者への情報提供が共通の課題である。
- ・「連携」とは「集い」に連合会の事務局が受付の手伝いに来ることではなく、各連盟に声を掛け、人を動員してもらい広めていくことではないのか。

次回継続審議。

次回日程 2015年11月5日（木）18:00-20:00 幼きイエズス会 ニコラ・バレ修道院

諸宗教部門

■2015年度第3回会議

日時 2015年11月4日（水）18:00-19:30

場所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 10人

欠席者 1人

報告

1. 立正佼成会主催「宗教の対話/対話の宗教」について

8月2日に立正佼成会の大聖堂（東京・杉並区）で行われた「宗教の対話/対話の宗教」に、当部門の実務責任者である宮下良平師が出席した。この催しは、第二バチカン公会議において、Nostra Aetate『キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言』発布から50年目を迎えたことを機に行われた。参加者は諸宗教対話の歴史や現在における課題について学んだ。

2. アジア司教協議会連盟諸宗教局担当司教フェリックス・マチャド大司教来日について

10月24日にフェリックス・マチャド大司教が来日し、岡田武夫責任司教との対談、当部門委員を交えての懇談会を日本カトリック会館で行った。

審議

1. シンポジウム「平和のための宗教者の使命」の記録冊子発行について

9月26日に開催された「平和のための宗教者の使命」の記録を発行するにあたり、具体的な検討を行った。例年の発行部数にかんがみ、4千部の発行を予定している。

2. 2016年度活動計画について

2016年度も年4回の定例会議に加え、例年同様、当部門主催によるシンポジウムを開催するとの合意を

得た。シンポジウムの詳細については、次回以降、具体的に検討を行うが、“日本人の霊性”に関連付けたテーマ案が出された。また、開催地は金沢市を予定している。

次回日程 第4回会議 2016年2月3日(水) 18:00-20:00 日本カトリック会館

カリタスジャパン

■第4回援助部会会議

日時 2015年11月4日(水) 10:00-15:00

場所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 9人

報告

1. 前回議事録を承認した。
2. 海外会議参加報告
 - (1)FABC東アジア気候変動セミナー(9月9日-10日、香港)
 - (2)カリタスパキスタン50周年記念行事(9月16日-22日、パキスタン)
 - (3)国際カリタス管理基準担当者研修(10月19日-21日、タイ・バンコク)
3. 東日本大震災対応について
 - (1)全ベース会議・仙台教区サポート会議(9月24日-25日、宮城・刈田郡)
 - ・全ベース会議では、ベース長とスタッフが参加して「ベースの活動の今後」をテーマにワークショップを行った。
 - ・仙台教区サポート会議は、来年度は3カ月に1回の開催とする。
 - (2)振り返りと今後の活動計画策定会議(9月7日さいたま、10月6日カリタス釜石)を実施した。
4. 2015年度援助実績について
5. 緊急募金状況について
 - (1)ネパール大地震 約104百万円、復興支援に年間30百万円程度を3年間で支援していく。
 - (2)ミャンマー洪水 約6百万円、国際カリタス緊急支援要請に2万USドル支援済み。
 - (3)ヨーロッパ移民・難民 約4百万円、国際カリタス緊急支援要請(セルビア、クロアチア、マケドニア)に支援。

審議

1. 2016年度予算を承認した。
2. カリタスジャパン大規模災害対応マニュアルに基づき、次回役割分担を決める。
3. 災害対応マニュアル(教区版)作成の手引きについて、全国教区担当者会議に諮り、よければカリタスジャパンから各教区(教区長、事務局長)に配布する。
4. 災害時の緊急対応体制について、仙台教区サポート会議で提案する。
5. 援助審査 以下8件(国内一般2、海外6)を審査、承認した。
 - (1)GARDEN「設備備品改修支援」550,000円
 - (2)あたり技術向上支援協会「フリースクール開校支援」1,299,000円
 - (3)ウガンダ「持続的農業プログラム支援2/3年目」55,098USドル
 - (4)バングラデシュ「少数民族教育支援3/3年目」50,052USドル
 - (5)カンボジア「若者職業訓練支援2/3年目」20,016USドル
 - (6)パキスタン「諸宗教対話による平和構築支援」30,000ユーロ

- (7) パキスタン「地域に根ざした災害リスク管理」 20,000 ユーロ
- (8) スリランカ「女性移住労働者支援」 19,444 US ドル
- 6. 国際カリタス緊急支援要請 (Emergency Appeal/EA) 以下 4 件の支援を決定した。
 - (1) ギニア「エボラ出血熱被災地収入向上支援 (EA28/15)」 10,000 US ドル
 - (2) ネパール「地震災害復興支援1年目 (EA31/15)」 300,000 US ドル
 - (3) マケドニア「移民緊急支援 (EA32/15)」 10,000 ユーロ
 - (4) パキスタン「地震災害緊急支援 (EA33/15)」 20,000 ユーロ

次回日程 2016年1月14日(木) 13:00-17:00 日本カトリック会館

■第2回カリタスジャパン委員会会議

日 時 2015年11月4日(水) 15:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 8人

報 告

- 1. 啓発部会報告 会報12月号参照
- 2. 援助部会報告 会報11月号参照
- 3. 事務局報告
 - (1) 事務局会議 会報11月号参照
 - (2) 全国教区担当者会議 (11月17日-18日、鹿児島) を実施する。
 - (3) 緊急募金状況について
 - ① ネパール大地震 約104百万円。復興支援に年間30百万円程度を3年間支援予定。
 - ② ミャンマー洪水 約6百万円。国際カリタス緊急支援要請に2万USドル送金済み。
 - ③ ヨーロッパ移民・難民 約4百万円。国際カリタス緊急支援要請(セルビア、クロアチア、マケドニア)に支援。
- 4. 東日本大震災対応について
募金収支と仙台教区サポート会議(9月24日-25日)について報告された。

審 議

- 1. 2016年度予算が承認された。
- 2. 2016年四旬節キャンペーン大綱が承認された。
- 3. 国際カリタス管理基準導入に関して、来年カリタスジャパンとして自己評価を実施する。

次回日程 2016年2月26日(金) 11:00-14:00 日本カトリック会館

正義と平和協議会

■定例会議

日 時 2015年11月6日(金) 13:00-17:30

場 所 カトリック幟町教会 信徒会館(広島教区)

出席者 13人

報 告

1. 第 39 回正義と平和全国集会東京大会について
2. 平和のためのフクシマバスツアーについて
3. 憲法キャンペーンのために作った歌「平和の大工」をデザインしたクリアファイル作成、リーフレット『原子力発電は“温暖化”防止の切り札ではない！』増刷の報告

審 議

1. 2016 年度行動計画について
福音にたちかえり、当協議会が現代の日本の状況について教会にどのように発信していくのか、自由討議を行った。
2. 「憲法キャンペーン」の内容検討。今年度のキャンペーンの実施状況をふまえて今後どのように行うかを検討した。
3. 2015 年度全国会議（2016 年 2 月 26 日－28 日）について
 - ・2 月 26 日（金）18：30 公開講演会 講師を検討した
 - ・2 月 27 日（土）午前中 憲法についての学習会、午後 分かち合い
 - ・2 月 28 日（日）全体会、派遣ミサ会場 2 月 26 日 幼きイエス会ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）
2 月 27 日－28 日 YMCA アジア青少年センター（東京・千代田区）
4. 2016 年度全国集会、沖縄現地学習会について

■「平和を創る人々の集い」呉現地学習会

日 時 2015 年 11 月 7 日（土）8：30－14：00

場 所 広島県呉市

参加者 23 人

定例会議の翌日、正義と平和広島協議会、広島教区平和推進チーム主催の「平和を創る人々の集い」呉現地学習会に参加した。広島港から松山行きフェリーで呉まで乗船し、海上にて“ピースリンク広島・呉・岩国”の新田秀樹さんの案内で、呉の戦争遺跡と海上自衛隊基地の説明を聞いた。呉到着後、「大和」「長門」などの軍艦が建造された海軍工^{こうしょう}廠を前身とする造船所が一望できる丘や、海上自衛隊の艦艇が見える公園を見学した。広島、呉は旧日本軍の軍事施設が数多くあり、軍都であった歴史を持ち、現在も在日米軍の弾薬庫、海上自衛隊の施設として利用されている。広島、山口の正義と平和関係者と交流しながら基地の監視活動をしている新田さんの説明で学びを深めた。

■NCC 女性委員会

日 時 2015 年 10 月 7 日（水）10：30－13：00

場 所 日本聖公会 聖バルナバ教会（東京・新宿区）

出席者 カトリックから 1 人

報 告

1. 各教派、団体からの報告
2. 「ともに証を」編集状況

審 議

1. フォーラム「女性の視点で聖書を読む」について、内容を検討した。

テーマ 沈黙の声を聴く～マルコによる福音書から～

日時 2016年2月13日(土) 10:30-16:00

講師 絹川久子さん

場所 日本福音ルーテル東京教会

2. NCC 教育部設立 110 周年記念事業への協力について

■平和を実現するキリスト者ネット

日時 2015年10月8日(木) 14:30-16:30

場所 富坂キリスト教センター 会議室(東京・文京区)

報告

1. 会計、賛同状況
2. 集会・行動の報告
 - ・第141回「戦争する国」に反対し、脱原発を求める宗教者国会要請行動
(平和をつくりだす宗教者ネットより)
2015年9月17日(木) 参議院議員会館 B107 会議室
署名提出 450 筆 総数 108,514 筆
 - ・第142回「戦争する国」に反対し、脱原発を求める宗教者国会要請行動
(平和をつくりだす宗教者ネットより)
2015年10月6日(火) 参議院議員会館 101 会議室
署名提出 290 筆 総数 108,804 筆

審議

1. 第143回「戦争する国」に反対し、脱原発を求める宗教者の要請行動(11月19日)のための要請メンバーを検討した。
2. ニュースレターの内容について
3. キャロリング・フォー・ピース
日時 2015年12月18日(金) 18:30-20:00
場所 聖公会神田キリスト教会
内容は次回検討する。

HIV/AIDS デスク

■第4回 HIV/AIDS デスク会議

日時 2015年10月29日(木) 15:00-16:45

場所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 7人

報告

1. 第39回正義と平和全国集会東京大会(9月21日-23日)
デスクはパネル展示と第19分科会を担当した。来場者との交流でHIV/AIDSを理解してもらえたと思う。
2. AIDS文化フォーラムin京都(10月3日-4日)
展示会場に参加したほか、「宗教とAIDS」で平良愛香委員と事務局がパネリストを務めた。

3. 白百合女子大学（10月8日）での講話

フランス語フランス文学科2年キリスト教学の学生約150人を対象に開かれた修養会で、まず初めにカトリックのHIV/AIDS啓発活動について事務局から説明して、その後岩室紳也さん（医師、ヘルスプロモーション推進センター長）が講演した。

4. 荻窪教会（10月18日）での講話

日本キリスト教団の荻窪教会で、河野小夜子委員と事務局が、HIV/AIDSの現状やデスクが取り組んでいる活動を紹介した。牧師はじめ教会の皆さんが真剣に聞いてくれた。

5. クリアファイルについて

デスクのレッドリボンを入れた羊のデザイン画のクリアファイル1000枚が、10月中旬に入荷した。今後各地のイベントで紹介していく。

6. 聖バルナバ教会での世界エイズ・デー記念礼拝の準備状況

礼拝のしおりの表紙にデスクのレッドリボンのデザインを使う。しおりは上記5のクリアファイルに入れて配布することになった。

7. ザビエル祭(11月23日)について

日本カトリック神学院のザビエル祭で、HIV/AIDSの啓発活動を紹介する。

8. その他

10月6日ー7日、横浜教区・司祭の集いが長野で開催され、「セクシャル・マイノリティ」について学んだ。

審議

1. 今年のAIDSデー・メッセージについて

小冊子『HIV/AIDSについて話したことがありますか』の10-11ページから抜き出して、ホームページに掲載する。

2. 残数が少なくなったミニカードの増刷と改定について

表面のデザインを変更して、裏面の情報を確認後、改訂版を増刷することが決まった。

3. カトリック新聞の広告について

小さいスペースなので、シンプルにロゴ（レッドリボン）とデスクの情報を載せる。

4. 来年度の活動計画

今年度同様、啓発イベントに参加することと講演会の依頼に応じることで、来年度も啓発活動を進める。

5. 講演依頼について

名古屋教区から講演会開催の打診が来ている。また立教大学で2016年1月13日に講演する依頼もあり、詳細が分かり次第準備を進める。

次回日程 2015年12月10日(木) 17:00ー19:00 日本カトリック会館

中央協議会事務局

■総務

1月会議予定

6日(水)	学校教育委員会	幼きイエス会ニコラ・バレ修道院(東京・千代田区)
7日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
18日(月)	カリタスジャパン教区担当者実行委員会	//
18日(月)	カリタスジャパン援助部会	//

〈会報 2016 年 1 月号 公文書〉

「真理と愛における対話」

教皇庁諸宗教対話評議会

同公文書は カトリック中央協議会ホームページに掲載。以下の URL から参照してください。

<http://www.cbcj.catholic.jp/jpn/doc/pontifical/interlocution/truth20140519.pdf>

カトリック中央協議会 「会報」 2016 年 1 月号 (通巻 531 号)

発行日 2015 年 12 月 20 日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457